

ジェイアール・イーストユニオン

ジャステイス新潟

不変の正義と民主化された労働運動を求めて！

ジェイアール・イーストユニオン新潟地方本部

発行者 神田 広栄

編集者 教 宣 部

平成 28 年 8 月 22 日 第 16 号

〒950-0086

新潟市中央区花園 1 丁目 6 番 30 号大幸ビル 1-B

Tel. 025-244-1777 JR 041-2490

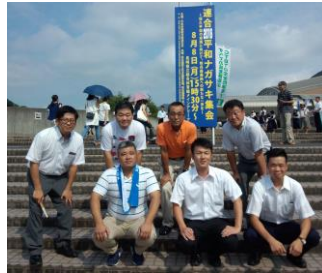
連合 2016 平和ナガサキ集会に参加して

「立派な日本人であれ」と願う

ジェイアール・イーストユニオン
新潟地方執行委員長 神田 広栄

人類最悪の人体実験と言われる原子爆弾の使用により、ここ長崎でも 7 万 4 千人余りの尊い命が一瞬にして奪われ、都市は焼け野原となりました。それから 71 年が過ぎる 8 月 8 日、私と藤原前副委員長は「連合 2016 平和ナガサキ集会」に参加してきました。

会場となった県立総合体育館前では高校生による募金活動が行われていました。全国から選ばれた 22 名の高校生が、平和大使としてスイスの国連欧州本部で核廃絶を訴えるとのこと、新潟三条高校から参加していた女子生徒へ募金するときに教えてもらいました。



集会は厳かなハンドベルのオープニングで始まり、森連合長崎会長の開会の挨拶の後、尊い御霊へ黙祷を捧げ、主催者や来賓の挨拶と続き、それぞれが世界平和への断固とした決意と次世代への継承を訴えていました。

今もなお、世界には 1 万 6 千発にも及ぶ核兵器が存在し、覇権主義や冒険主義を顕わにする国々もあり、私たちは核兵器の脅威から解放されていないのです。アメリカのオバマ大統領が示したように、核兵器廃絶に向けた強い意志を世界のリーダーが持ち、真摯に行動する日が来ることを願って止みません。私たち一人ひとりがその意志を明らかにし、具体的行動を通じることによって一層具現化するものと確信します。職場の民主化も世界平和も根底は同じです。日々の実践とたゆまぬ努力が大きな成果を、奇跡をも起こすものと考えさせられました。

熊本地本へカンパ金を届ける

翌 9 日、JR 九州労組の芦原中央執行副委員長にご同行いただき、イーストユニオン独自で取り組んだ



カンパ金を携えて熊本へ向かいました。熊本駅では熊本地本の坂本委員長がご多忙のなか出迎えて下さり、事務所への道すがら報道以外の様々な出来事を聞かせていただきました。

私たち新潟も中越地震をはじめ多くの自然災害と闘ってきました。残念ながら日本列島に住み続ける限り避けようのない脅威は、決して手を緩めることはありません。JR 各社も当然のことながら、日々の安寧を願う私たち一人ひとりがその脅威に少しでも備え、英知を結集し克服して行かなければならないのです。

今回、尊い命を一瞬にして奪った原爆の悲劇を目の当たりにし、今もなお弱肉強食の世界観が漂う虚しさ、いつの時代にもあったように若者が明るく、きらめく未来を信じて躍進を願う心根の大切さを痛感しました。また、甚大な被害を出す自然災害の脅威の再認識と、まだまだ復興道半ばでしたが、復興を信じて確実に歩む日本人の素晴らしさを実感させられました。

私は「立派な日本人であれ」と願うばかりです。歴史を振り返れば日本人は、「今より次世代が良くなるように」と考えて生きてきたのではないのでしょうか。当然、私たち労働組合もそのような考えで連帯していかなければなりません。JR 連合の仲間たちとは、その中心的役割を果たすという認識を共有し行動していると確信しています。ますます連帯を強め、信じた道を切り開いて力強く進まなければならないことを再確認しました。